

令和6年8月利府町教育委員会定例会会議録

- 1 開催日時 令和6年8月28日（水）
午後1時00分から午後2時00分まで
- 2 開催場所 利府町役場 第2会議室
- 3 出席委員 本 明 陽 一 教育長
村 松 淳 司 委員（教育長職務代行）
高 田 修 委員
坂 下 咲希恵 委員
小 島 優 子 委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 説明のため出席した者 教育部長 小 澤 晃
教育総務課長 小野寺 厚 人
生涯学習課長 古 澤 晃 一
総務学事係長 伊 藤 めぐみ
総務学事係主査 渡 邊 理 紗
- 6 傍 聴 者 なし
- 7 令和6年7月定例会会議録の承認
原案のとおり承認。
- 8 本定例会会議録署名委員の指名
村松委員と小島委員を指名。
- 9 一般事務事業報告及び事業計画
（説明者：教育部長）
資料9ページをご覧ください。6日、7日、イングリッシュキャンプが森郷キャンプ場で開催され、同日、新任教員研修会が行われた。9日から16日まで小中学校の閉庁日となっていた。20日、福島県にあるブリティッシュヒルズに教育総務課長、教育指導係長、係員の3人が視察に行ってきた。ここは英語の体験活動ができる施設ということで視察したもの。

21 日、紙おむつナプキン贈呈式、午後には文化芸術振興審議会が行われた。22 日、世代間交流事業の夏休み企画として海上保安部巡視船見学会が行われた。同日午後にはリフノスで前宮城教育大学長の村松先生を講師にお迎えし、教育講演会が行われた。26 日、町内小中学校で 2 学期の始業式が行われた。また午後には、二市三町教育長会が利府町教育委員会教育長室で行われた。27 日、仙台管内教育長会議が仙台合庁で行われた。同日、スクールガード養成講習会が行われた。本日 28 日は、定例の教育委員会となっている。29 日利府町立の小中学校校長会がしらかし台小学校で行われる。

続きまして、9 月一般事業計画について、2 日朝にあいさつ運動を行い、同日、小中学校教頭会がしらかし台小学校で行われる。3 日から 13 日までの予定で 9 月の定例議会が行われる。6 日、しらかし台小学校で指導主事学校訪問が行われる。それから、6 日及び 9 日に仙台教育事務所による管内小中学校事務指導が役場にて行われる。10 日、二小で町長講話がある。11 日に利府西中学校で指導主事学校訪問が行われる。12 日、学校図書担当者及び学校図書業務員研修会がリフノスで行われる。13 日、小中学校特別支援教育研修会が行われる。また、管内教育委員会人事担当者会議が仙台合庁で行われる。17 日あいさつ運動、教育委員会では利府小学校の活動に参加予定。18 日、しらかし台中学校で指導主事学校訪問が行われる。24 日、しらかし台中学校で町長講話がある。25 日、9 月の定例教育委員会となる。27 日、二小で指導主事学校訪問が行われる。28 日（土）と 29 日（日）には、中学校の新人大会が 2 日間の予定で開催される。

原案のとおり承認。

10 議案

議案第 19 号 令和 6 年度教育要覧「利府町の教育」について

（説明者：教育総務課長）

別冊の資料をご覧ください。作りとしては例年通りとなっている。

1 番、利府町の概要として 1 ページから 4 ページまで記載している。

2 番、教育振興基本計画について、4 ページから 13 ページまで記載している。3 番の教育委員会について教育委員会の歩み、教育委員会の組織と活動、教育委員会組織図ということで、14 ページから 21 ページまで記載している。4 の附属機関については 21 ページに記載している。5 番の利府町の志教育「町は一つの学校」については 22 ページ、23 ページに令和 6 年度の予算ということで記載している。7 番の教育行政の概要について、教育総務課の総務学事係から生涯学習課の文化振興・

リフノス係まで 35 ページまで記載している。36 ページから 8 番の教育委員会関係施設ということで、リフノスと郷土資料館を記載している。39 ページから、9 番の学校教育ということで利府小学校から利府西中学校まで、各学校の概要が載っている。最後に 10 番の各種委員名簿について 57 から 58 ページに記載している。

(説明者：生涯学習課長)

生涯学習について、基本方向に社会教育、文化芸術スポーツ活動の推進とあるが、現在はスポーツ振興課という新たな課があるため、中間年度である令和 9 年度に見直しを行うものである。

(審議) なし

原案のとおり承認。

1 1 報告事項

(1) 利府町教育委員会の人事について

(説明者：教育長)

教育長及び教育委員の任期について、私が 9 月 30 日で退任すること、村松委員には継続してお願いしたいとしている。しかし、議会の承認が必ず必要になるため、それを通してからということになる。

(質疑) なし

(2) イングリッシュキャンプについて

(説明者：教育総務課長)

今年度新たに実施した事業である。今月 6 日・7 日の 2 日間にわたり、小学 4～6 年生、全部で 27 人に参加していただいた。森郷キャンプ場の方に、アメリカから来ている方の他、20 人以上のボランティアの方に御協力いただき、内容としてはミュージックやアート、サイエンスといった英語のプログラムを実施した。アンケートは集計中であるが、非常に好評であったと考えている。今年度はデイキャンプ形式ということで 2 日間、通いという形で行ったが、来年度以降は 1 泊 2 日なども視野に入れながら継続していければと考えている。

先ほど部長から一般事務事業報告の中でもご報告したが、先日、福島県天栄村というところにあるブリティッシュヒルズという語学研修施設の視察に行ってきた。「パスポートのいらない英国」と言われており、敷地内は基本的に英語のみ使用するという所であった。来年度以降も、予算の関係があるため未定ではあるが、小学校高学年はイングリッシュキャンプ、中学生は国内留学研修のような形も検討していければと考えている。

(質疑)

教育長

七飯町や清水町との交流もやっていきたいので、教育委員会として検討した結果をまた相談していければと思う。

小島委員

息子が参加させていただいた。2 日で終わるのが残念というほど楽しんできたようだ。

坂下委員

日本という狭い世界だけではなく、外を見る機会が日本にしながら色々と体験できるのは大変素敵なことである。

村松委員

ボランティアの方の年齢構成は。

教育総務課長

幅広い年齢で 20 代の方から 60 代ぐらいの方までいらっしゃった。

アメリカから来ていただいたのは多分 10 人弱ぐらいであった。また、日本にいる外国人の方であったり、日本人の大学生のボランティアにも協力いただいた。

村松委員

基本的に日本キリスト協会に全部実施していただいたのか。

教育総務課長

基本的に協会の関係者に実施いただいた。参加者は町内小学生 30 人募集してキャンセルもあり 27 人の参加であった。

村松委員

大人 1 人につき子ども 1 人ぐらいのイメージなのか。

教育総務課長

実際のプログラム上はそうした形ではないが、児童数人に対して 1 人、あとの方は周りだという形である。問題なく対応できていたと思う。

坂下委員

すべて英語だったのか。

教育総務課長

当初完全英語の予定であったが小学校 4 年生も参加いただいたので完全に英語だけというところは難しいところもあり、英語を口から発語することを大事にして、そこを促すために基本的には英語だが、全く日本語を使っていないという訳ではなかった。

教育長

私もできれば外国に連れて行ってほしいということを要望しているが提携している町がない。オーストラリアなどは時差もなく良いのではと

考えていた。町でどこまで補助できるかだが。

村松委員

意外に安いのはグアムである。時差も少ない。

教育長

他市町で結構実施している。主にホームステイなど。提携先があれば良いのだが。提案があれば伺いたい。

村松委員

プラスするとすれば、スキルを養うよりも利府町の良いところを紹介するといった自分の文化を伝える国際性などを学べると良いと思う。日本人が苦手なことである。

（３）令和６年度利府町立小中学校 全国学力調査結果について

（説明者：教育部長）

今年度については小学校で国語と算数の２教科、中学校は国語、数学の２教科で実施された。結果については、全国との比較で見ると、国語が１ポイントプラス。算数については１ポイントマイナスというところで昨年度と同様全国平均と大差のない結果となった。仙台市を除いた県との比較を見ると、国語でプラス４ポイント、算数ではプラス５ポイントということで仙台市を除いた県比較からは大分上回っている結果となった。中学校については、全国との比較では２教科とも全国平均を下回っている。国語では１ポイント、数学では４ポイント下回っている状況である。また、仙台市を除いた比較では国語でプラス２ポイント、数学はプラス３ポイントということで中学校の方もプラスの結果となっている。昨年度から中学校を見ると数学は若干改善方向に向いているという結果であった。

各教科でどの部分に課題があるかを各学校の方で洗い出して分析を進めている。学び直しや授業改善を取り組んでいく方向である。各学校で研究主任を中心に対策等を検討していただいている。研究主任者会において、学校教育専門員からの指導助言もあり、どのようにしていくかということで進めていくような考えである。

（質疑）

小島委員

町全体の結果以外に、学校間でばらつきがあるのか。差は何なのか。

教育部長

確かに学校間での差はあるところであるが、先生方も何とか工夫して指導しているところである。

坂下委員

前回と比較して、こういうことをしたから伸びたというような具体策はあるか。

教育部長

先生方の授業研究の結果が表れた部分もあり、詰め込み形ではなく、子ども達に課題を与えてどうして行ったらよいか、進め方も子ども達に考えさせて、自分達で考えたことを、また皆で話し合っていくような取り組みが結果に表れているということがある。町全体でも研究主任者会等でも参考にしていきたい。

坂下委員

良いモデルケースみたいなもの出てくると、それが伝わっていくと良いと思う。1年間待たずして何か良い試みを、学校間の繋がりで教えていただけると良いと思う。

高田委員

今の取り組みは、子ども達に自分で考えさせるということだと思うが、仙台市太白区では遊び場づくりが始まったとのことである。プレイリーダーが入っているがプレイリーダーは何もせず見守るだけで、子ども達は最初戸惑うけれど、自分で遊びを発見していくという。結局プログラム学習と同じだと思う。その場に行き一緒にいながら、1人で発見していくこともあるし、皆でグループ作りながら遊びを作り出していくことを経験していくと、やはりそういうプログラム学習なり、或いは自分で考える学習が進みやすいのだと思う。遊び場と学力向上の取り組みはリンクしていくことがあると思うので、ぜひ校庭開放や、教育委員会としての遊び場づくりということをテーマとして取り上げていただければと思う。

村松委員

答え合わせの後はどうのようなフォローをしているのか。

教育部長

子ども達の苦手な部分の領域については再度問題を解いたり、授業の中で教え方に問題がないのか、学ばせ方の改善をするために先生方で話し合うなどをしている。

村松委員

夏休みに向けてフィードバックさせる方法でも良いと思う。夏休み前には結果がでる。

教育部長

自分自身で答え合わせはしているが、全体が出るのはその後で、保護者への全体結果と指導方針の通知もこれからであるため、同時に各校の研究主任者がまとめたものを持ち寄って、そこで中学校区毎に検討、

対策をしていくこととなる。

村松委員

毎回結果に一喜一憂するのではなく、どう改善していくかと思う。

教育長

正答率が悪い問題については、本町の学校教育専門員が分析して出している。その後、本町で標準学力テストを 12 月に実施している。そこまで学んだものを学び返して 3 月、卒業するまでに再度教えるようにしている。責任を持って次の学年にあげてくださいとしている。ところが同じような傾向の問題を間違えるということがある。指導の仕方が同じなのではないか、ということがある。各学校でも取り組みはしているが、教育委員会としても方策を立てていかなければ。その一つとして、各研修会は随分セッティングをしている。今後も取り組んでいきたい。

(4) 令和 6 年度「十符っ子の日」について

(説明者：生涯学習課長)

実施要項の案であるが、目的はブラザーシップ事業の一つであり、志教育で学んだ発表の場として行うものである。今年度は令和 6 年 11 月 2 日土曜日 9 時半から開始予定となっている。会場は全小中学校、参加者は全学年で小学校 5・6 年生については自分の中学校区の中学校の方に行って参加するということになる。また、夢と志の意見発表ということで、それぞれ小学校 5 年生、6 年生、中学校 1・2 年生、3 年生、利府高生、利府支援学校の生徒会役員が発表予定である。その後、志教育に関わる取り組みの紹介ということでスライドを使いながら志教育の取り組みを紹介するもの。さらに、地域とともに、ということで各中学校区の地域の方に講演等依頼し披露いただく予定である。

(質疑) なし

(5) 利府中学校弓道場整備事業について

(説明者：教育総務課長)

今年 5 月の定例教育委員会で概要を報告し、6 月一般会計補正予算で予算を計上するという話をさせていただいた。5,000 万以上の工事契約の場合は、議会での議決が必要になるため 9 月定例議会に工事請負契約の締結の議案を上げようと進めていたが不落であった。設計の中身を見直し予算の範囲内で 9 月定例議会に追加提案できるようにということで今発注しているところである。

(質疑) なし

(6) 利府町小中学校教育講演会について

(説明者：教育総務課長)

先週木曜日 8 月 22 日にリフノスで利府町の小中学校教育講演会ということで実施した。講師の先生は宮城教育大学の前学長の村松隆先生、演題については未来の学校教育に向けてということでご講演いただいた。

(説明者：教育部長)

内容としては、大きく未来の学校教育に向けてということで現在の大学の状況から、今後 20 年先を見たときにどのようにしていくべきなのかというテーマであった。その中で学校ではどういった授業をしていくことが大事なのかということで、村松先生の経験上の話を交えながら具体的に話をしていただいた。先ほどの話にも繋がるが、こちらから与えられて進めるよりは子ども達が面白がって楽しんでやることから、自ら学んでいくことが大事になっていくのではという話があった。

(質疑) なし

(7) 町議会議員からの要望事項について

教育長

(7) 町議会議員からの要望事項については、非開示情報が含まれるので秘密会とする。

(8) あさガオー・みヤギーを応援しよう！(ミュージアム キャラクターアワード 2024) について

(説明者：生涯学習課長)

あさガオー・みヤギーは利府町郷土資料館公式キャラクターである。今年もミュージアムキャラクターワード 2024 にエントリーしている。昨年 2 位のため 1 位を目指している。

(9) 各小・中学校の状況について

教育長

(9) 各小中学校の状況については、個人情報が含まれるので秘密会とする。

1 2 事務局からの連絡事項

(1) 令和 6 年 9 定例会の開催について

次回開催予定日は、令和 6 年 9 月 25 日水曜日、午後 1 時からである。

1 3 閉会